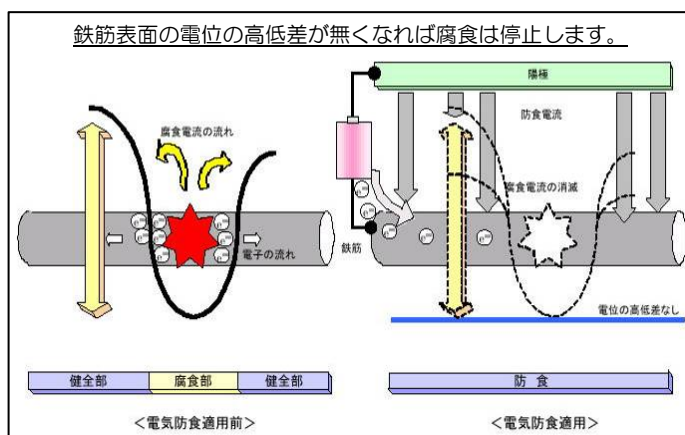


感謝状をいただきました

去る10月25日に電気防食技術の発展・普及を目的に設立された「日本エルガード協会」という団体から、「電気防食技術の発展に尽力した功労」として感謝状をいただきました。

電気防食技術？・・・と言われても、何のことやら分からない方が多いと思いますので、簡単にご説明します。港湾構造物には、基礎に使われる鋼管杭や鋼矢板、コンクリートの中の鉄筋など、鉄でできた製品が含まれています。これらは、海水に含まれる塩分などにより、放置しておくと腐食してしまいます。これを電氣的に処理して防ぐのが電気防食と言われる技術です。方法はいろいろありますが、このうち、コンクリートの中の鉄筋に電流を流して、腐食をくい止める技術（下図のイメージ参照）については、開発されて

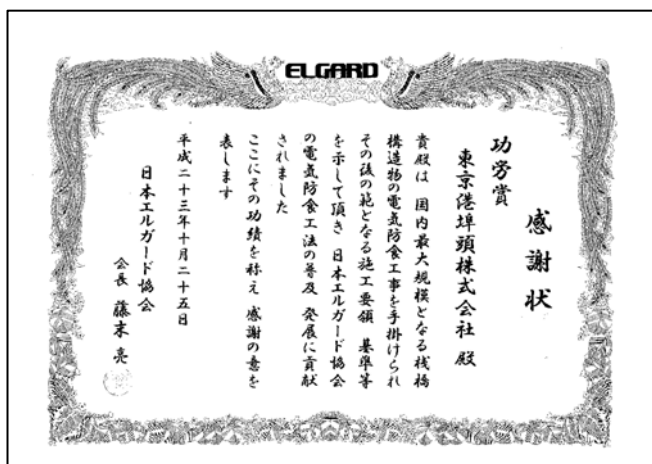
から歴史も浅く、栈橋への適用事例が有りませんでした。このため、当時の東京港埠頭公社において、大井埠頭で試験施工を行い、得られた知見を基に調査・研究を進め、調査・補修工法を体系的な補修技術として確立しました。その集大成として「大井埠頭栈橋劣化調査・補修マニュアル」を作成し、大井埠頭の再整備事業において大規模に採用しました。



こうした経緯から、作成したマニュアルが、

同じ課題を抱えた方々の範となったこと、国内最大規模での栈橋への採用が、本技術の発展と普及に寄与したとの評価を頂き、今回の感謝状贈呈となったものです。

なお、本マニュアルは、先駆的なものであったことから、同様の施設を管理する方々の参考になればとの思いから、平成16年から「栈橋劣化調査・補修マニュアル」として販売しております。本マニュアルについては、今後とも、新たな知見を取り込み、内容の充実に努めていく所存です。



受賞の挨拶（尾田常務）